



「ヒト、モノ、情報、あらゆる資源が つながる“未来の舞鶴”」創生事業

舞鶴版Society5.0実装による
“便利な田舎暮らし”の実現



京都府舞鶴市
舞鶴市長 多々見 良三

1. モデル事業の概要

経済

- ・ 京都舞鶴港スマート・エコ・エネルギーポート化推進
- ・ 万願寺甘とう等におけるスマート農業の展開
- ・ AIやRPAを活用した行政の効率化



社会

- ・ 全ての市民に不自由ない移動を！Ma a S導入のまち
- ・ 農福連携を通じた社会的弱者の社会参画促進
- ・ 舞鶴版Society5.0を担う未来創造人材の育成



環境

- ・ RE100宣言（再生可能エネルギーの地産地消実現）
- ・ ICTの活用による循環型社会形成の推進
- ・ 産官学連携による防災・減災システム導入



都会にはない豊かな自然や歴史・文化を最大限に生かした心豊かに暮らせるまちづくり
民間企業や教育機関と連携し、AIやICT等の先進技術を積極的に導入

「舞鶴版Society5.0」の実装を推進

- ① 日常生活や都市機能における効率性や利便性の向上
 - ② ヒトとヒトのつながりの強化
 - ③ 高齢者や女性の更なる社会参画
- 等

新たな価値創造を切り拓き、持続可能性を高める

2030年のありたい姿
未来型の“便利な田舎ぐらし『ヒト、モノ、情報、あらゆる資源がつながる“未来の舞鶴”』を実現

2. 三側面をつなぐ統合的取組

舞鶴版Society5.0実装推進事業

多様な手段を包含した完全キャッシュレス社会

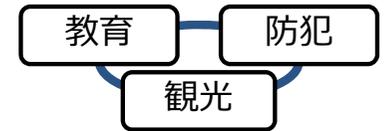
観光客も高齢者も若者も、みんなラクラクお買い物
地域商店も売上向上



店舗

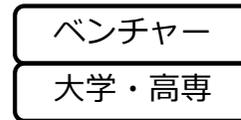
他の情報プラットフォームとの連携

- ①舞鶴市の他の施策情報との連携
- ②隣接自治体との情報連携



情報のオープン化

- ①ベンチャー創出
- ②若手人材の育成



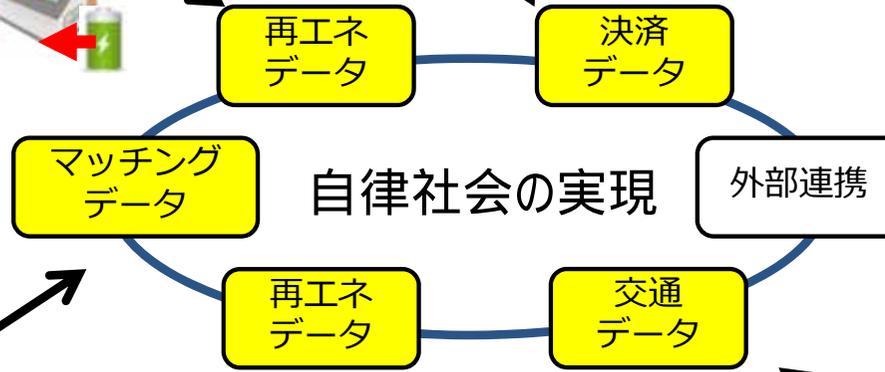
全ての市民に不自由ない移動を！

MaaS導入のまち

- ①地域資源を最大限活用！
- ②域内の全移動サービスをシームレスにつなぎ
利便性を向上、マイカー以外の交通分担率をアップ



自律社会の実現



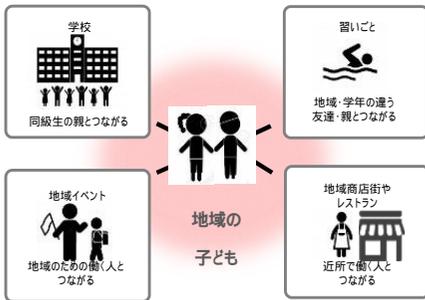
自家消費の
最大化

RE100宣言のまち

- ①市保有建物への太陽光の設置
- ②公用車のEV化によるCO2減

マッチングにより、 人々が快く助け合うまち

ITで、助けを必要とする人と
チカラになりたい人が出会う



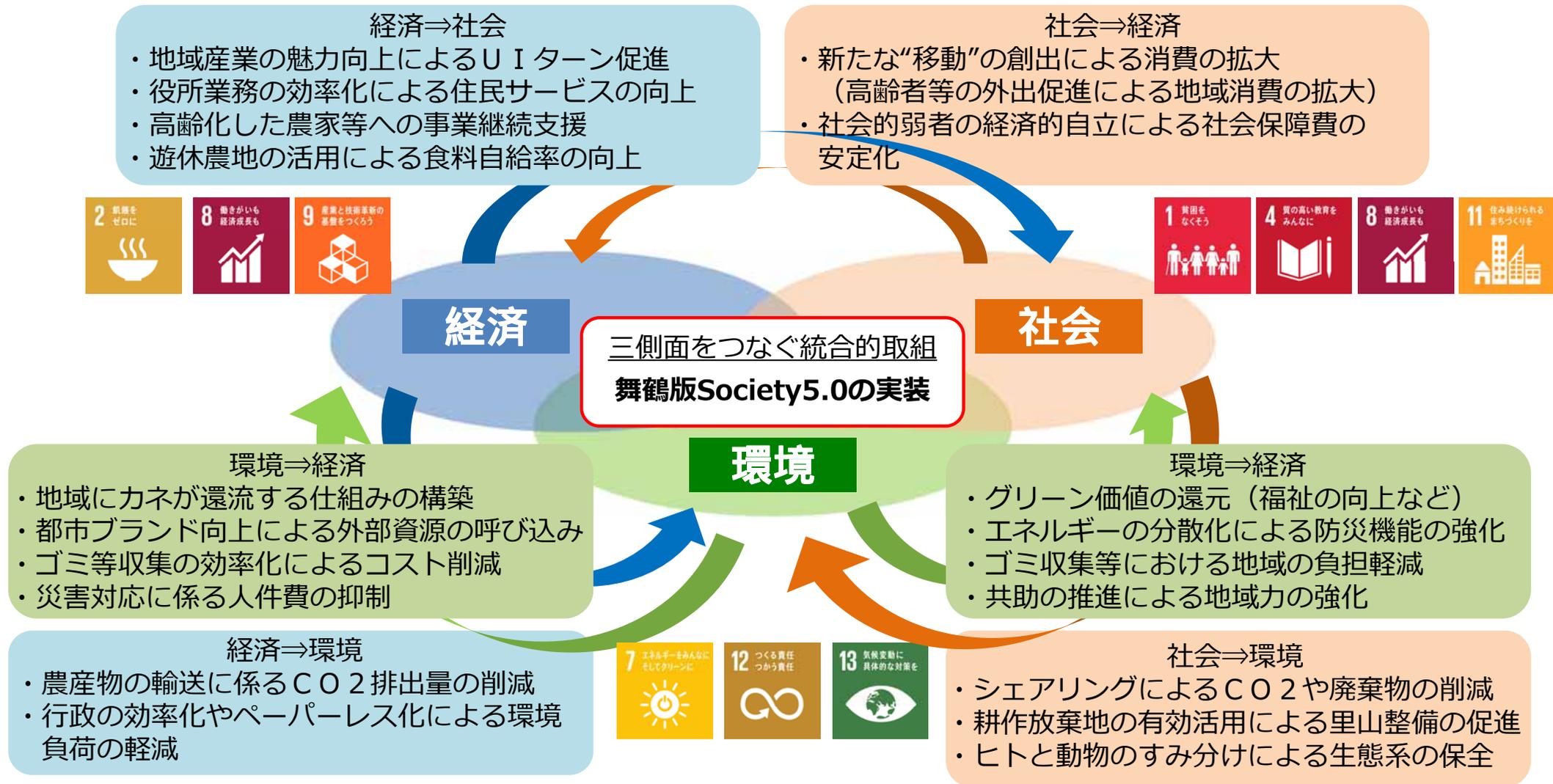
ビッグデータ+AIに見守られた安心安全なまち

土木インフラの異常、自然災害の発生に加え、
ヒトもふくめた街全体の見守りを実現

エネルギーや交通、生活（マッチング・キャッシュレス）、
公共（インフラやヒトの見守り）などを先進技術等をつなぎ合わせる。

自立と**共生**の促進により地域の持続可能性を高める。

3. 統合的取組による相乗効果



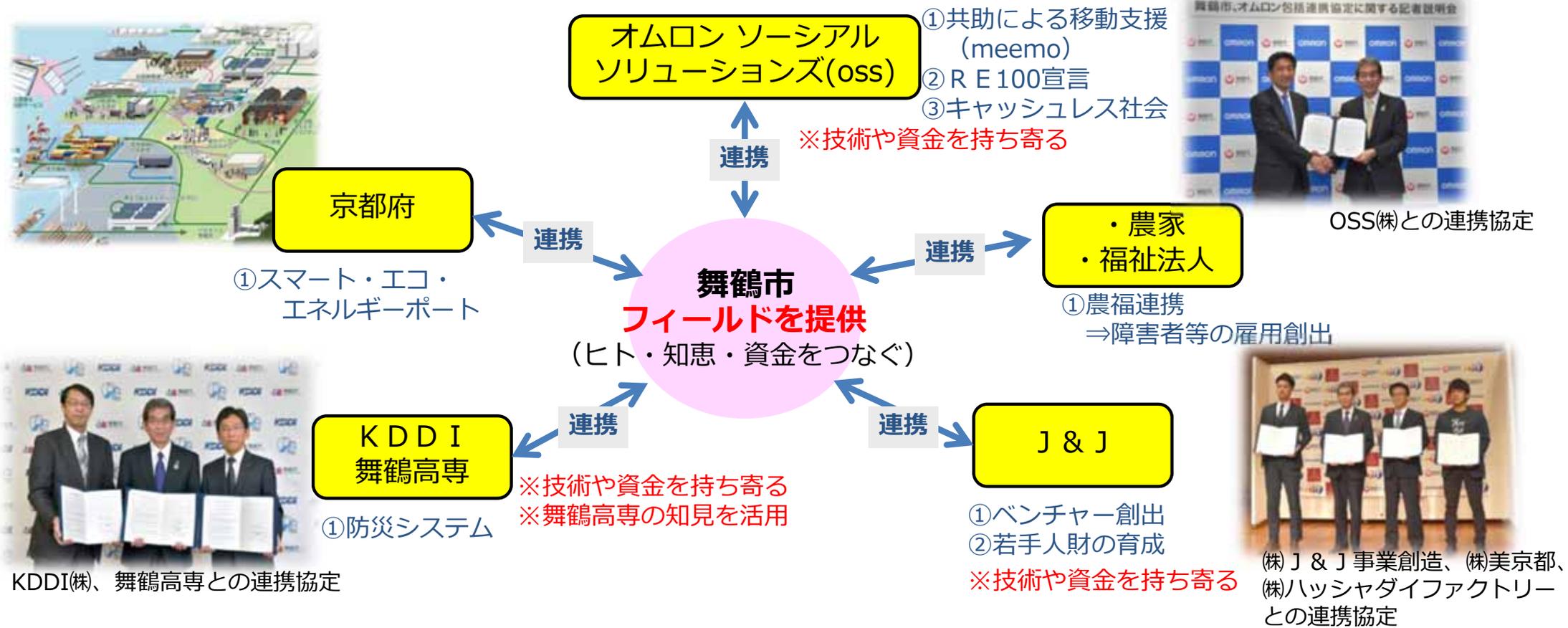
舞鶴版Society5.0の実装

先進技術の活用等により**既存の資源を最大限に有効活用**

既存の資源から有機的に新たな価値を生み出す

4. 自律的好循環

モデル事業を推進する多様な連携



①市は、2030年のありたい姿（未来型の“便利な田舎ぐらし『ヒト、モノ、情報、あらゆる資源が つながる“未来の舞鶴”』）のコンセプトを示し、賛同する企業や教育機関等にフィールドを提供

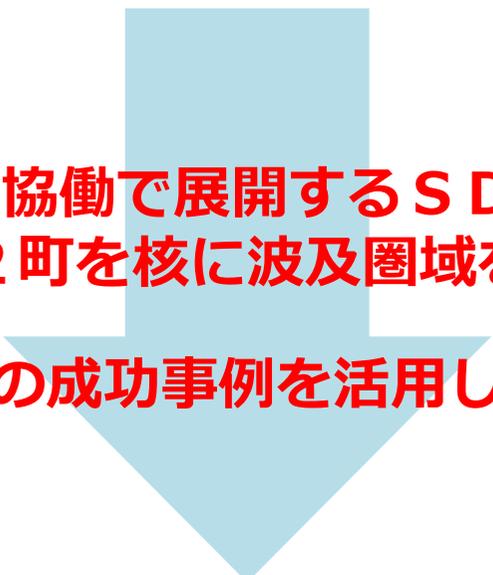
②民間企業等は、自身の技術や知見、資金等を持ち寄り、本市をフィールドに、教育機関や多様な団体等と連携して実証実験を行う

成功事例のPRにより、新たなチャレンジャー（企業）を呼び込み好循環を創出！
外部からのヒト・モノ・カネの呼び込み等により必要な経費を拠出し、事業の継続性を確保！

5. モデル事業の普及展開性

成功事例を・・・

市は、SDGsモデル事業として発信！（まずは京都府北部5市2町に波及）
民間企業は、成功事例を活用して課題解決事業を拡大！



**市は、民間企業と協働で展開するSDGsの取組を深化
（5市2町を核に波及圏域を拡大）**

民間企業は、本市での成功事例を活用して各地で事業を展開

本市と同様の悩みを抱える全国の10万人未満の都市が、
地方創生やSDGsの取組の推進により持続可能なまちづくりを実現する
モデル事例・ベストプラティクスとなる。